

# 環境活動レポート

《2021 年度版》

エコ印刷から始まる

持続可能な社会へ

株式会社 プリプレス・センター

2022 年 9 月 9 日発行

## はじめに

地球環境の保全是人類共通のテーマであり、企業も自らの役割を認識し具体的な行動を起こすことが必要です。株式会社プリプレス・センターは、全ての事業活動において環境に配慮し、積極的に環境の維持・改善・啓発に取組み、社会から信頼される企業を目指します。

## 印刷業としてできること

印刷業とは大量に紙資源を消費する製造業です。私たちに課せられた使命は、地球環境の負荷を最小限に抑えながら、文化を広く伝承するお手伝いを行い、サステナブルな製造体制を構築し社会に貢献することにあります。では、環境負荷を低減し、どう製造業としての役割を果たすのでしょうか？私たちは7つの約束を守り、サステナブルな企業作りを目指します。

### 《 約束 》

1. 無駄な量は作らない。(必要な時に必要な量をお届けします。また、適正量を提案します)
2. エコアクション21を通してPDCA (Plan、Do、Check、Action) サイクルによる、地球環境の負荷を最小限に抑えた製造体制を構築します。
3. 最高品質の環境配慮印刷を提案します。(紙・インキ・印刷方式等)
4. 製造での負荷を相殺する手段として、負荷の一部ですが森林などの緑化事業やグリーン電力などカーボンオフセットを行います。
5. 紙の消費を抑えるため、WEBなどの電子媒体で代替成果物をお客様にご提案します。
6. グリーン購入や環境に配慮した会議運営のグリーンコンベンションの普及や啓発など社会的な活動を企業として支援します。
7. 顧客だけではなく、仕入先や当社の社員、その家族を含めたステークホルダーに対しても環境への配慮活動を啓発していきます。

私たちは、常に環境配慮という視点にたって「サステナブル経営」と「低炭素社会」への実現へ向けて、「印刷とWEBのビジネスモデルの確立」を全社一丸となって取り組みます。

株式会社 プリプレス・センター 代表取締役 藤田 靖

## ■ 環境方針

### 環境保全に関する基本方針

地球環境の保全は人類共通のテーマであり、企業も自らの役割を認識し具体的な行動を起こすことが必要です。株式会社プリプレス・センターはすべての事業活動において環境に配慮し、積極的に環境の維持・改善・啓発に取り組み、社会から信頼される企業を目指します。

### 環境方針

1. 環境に配慮した商品開発を行い、販売に努めます
2. 環境関連法規制その他を遵守し、汚染の予防に努めます
3. 省エネルギー・省資源・廃棄物の適正管理に努めます
4. 事業活動における環境負荷の低減に努めます
5. 環境経営の継続的改善に努めます

2004年5月1日 制定  
2020年8月1日 改定  
株式会社 プリプレス・センター  
代表取締役 藤田 靖

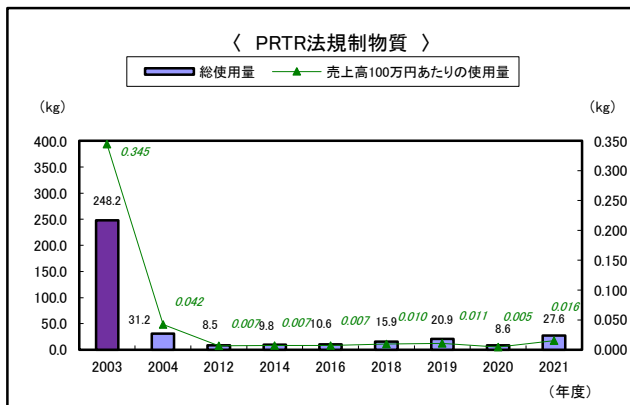
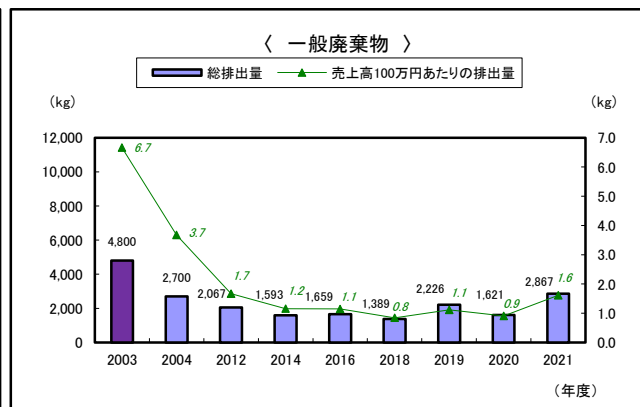
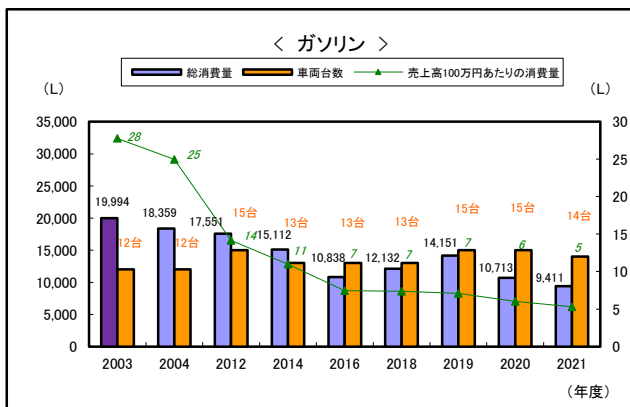
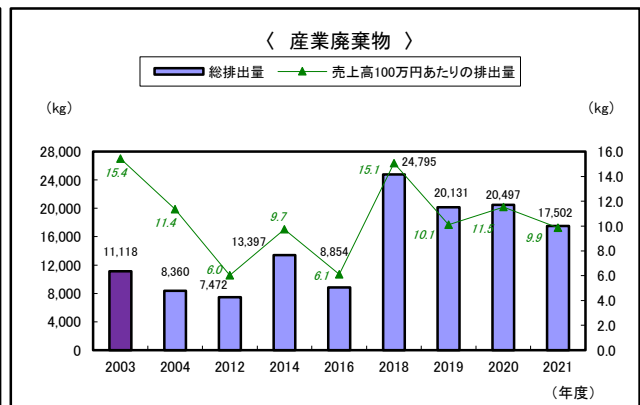
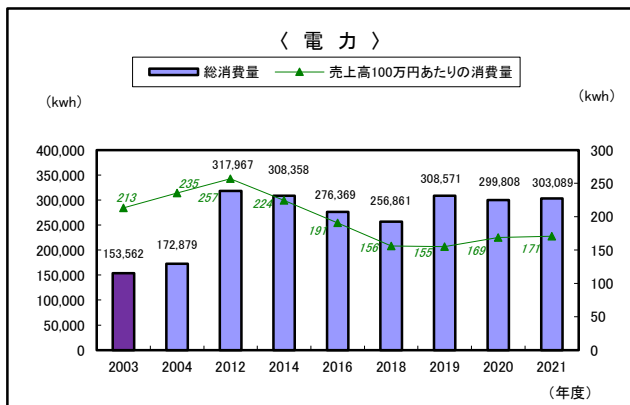
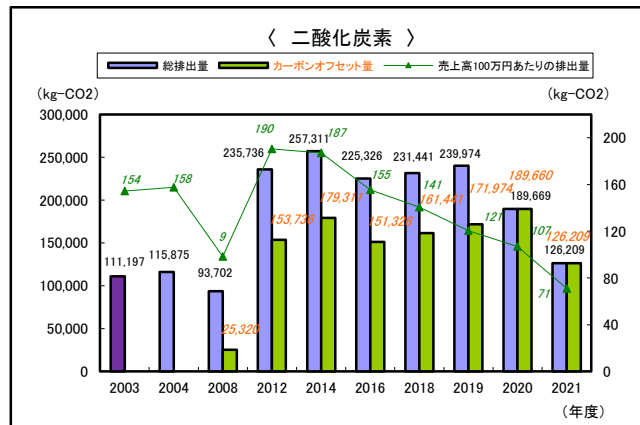
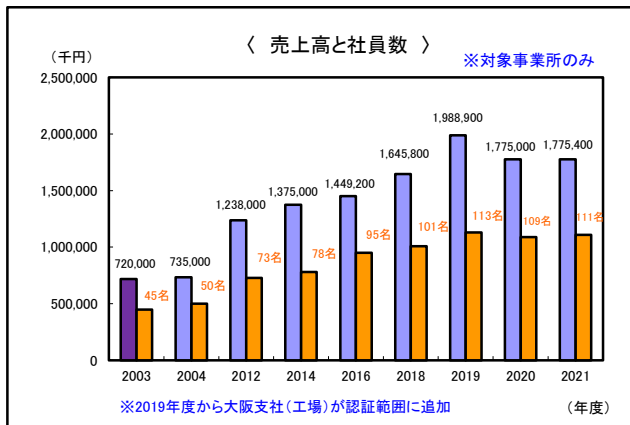
## ■ 事業所の概要

1. 事業所名及び代表者氏名  
株式会社 プリプレス・センター  
代表取締役 藤田 靖
2. 所在地  
〒064-0810 北海道札幌市中央区南 10 条西 8 丁目 4-1
3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
環境管理責任者 管理本部 福岡 三知代  
連絡先 TEL : 011-206-7654 FAX : 011-520-7887
4. 事業の内容  
企画・デザイン、制作、印刷（オフセット・オンデマンド）、製本、パッケージ加工、マルチメディアコンテンツ制作、WEB サイト構築・システム開発、ノベルティグッズ販売
5. 事業の規模

| 活動規模 | 単位             | 2021 年度 |
|------|----------------|---------|
| 売上高  | 万円             | 177,500 |
| 従業員数 | 人              | 111     |
| 床面積  | m <sup>2</sup> | 3,106   |

6. 対象事業所
  - (1) 札幌本社：北海道札幌市中央区南 10 条西 8 丁目 4-1
  - (2) 東京本社：東京都台東区浅草橋 1-2-8 マルイチビル 6F
  - (3) 大阪支社：大阪府大阪市東淀川区豊里 1 丁目 11-36

■ 環境への負荷状況の推移 (2004年度から環境活動開始)



■二酸化炭素の排出量減少について  
 札幌本社と大阪支社の電力を「再生可能エネルギー電力」に変更したため。(2022.01～)

■2021年度分のカーボンオフセット  
 「126,209kg」(オフセット予定量)  
 ※排出した二酸化炭素を全てオフセット。

(2021年度二酸化炭素排出係数(電力))

札幌(トドック電力: 0.324kg-CO2/kWh) 東京(東京電力エナジーパートナー: 0.443 kg-CO2/kWh)  
 大阪(関西電力: 0.351 kg-CO2/kWh)  
 ※再生可能エネルギー電力については、排出係数「0kg-CO2/kWh」

## 補足説明

### ◆2018年度の産業廃棄物排出量増加の要因

新社屋（現在地）への移転に伴い不要物を廃棄。また、新社屋リフォーム時の廃材排出が主な要因。

### ◆2019年度以降の全体的な数量増加の要因

大阪支社の工場が認証範囲に追加されたのが主要因。

### ◆2021年度の二酸化炭素の排出量減少について

札幌本社（融雪電力以外）と大阪支社の電力を「再生可能エネルギー電力」に変更したため。

(2022.01～)



札幌本社



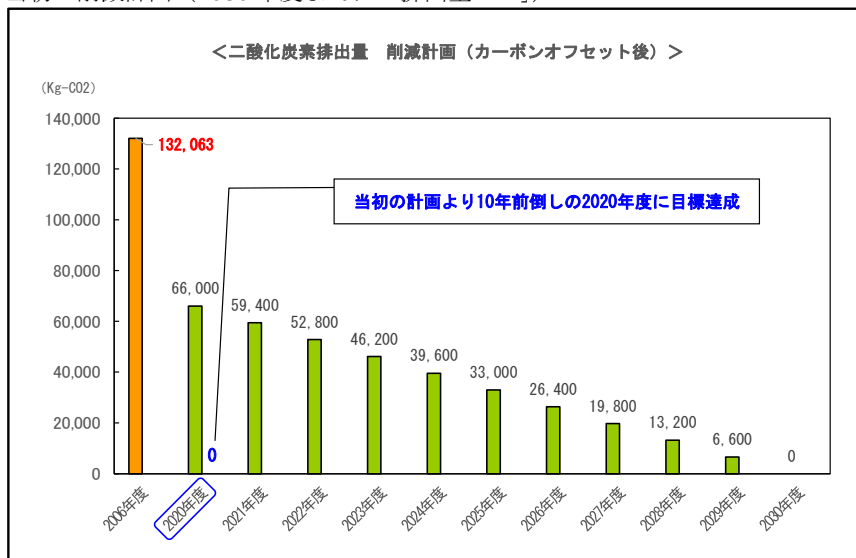
大阪支社

### ◆カーボンオフセット後の二酸化炭素排出量について

日常活動で削減出来ない分を毎年カーボンオフセット。

オフセット後の排出量を 2006年度の総排出量（132,063kg-CO<sub>2</sub>）をベンチマークとして、2020年度までに 50%以下の「66,000kg-CO<sub>2</sub>」となるよう活動。さらに2030年度までに「排出量ゼロ」を目標として活動を継続し、当初の計画を前倒して2020年度に「排出量ゼロ」を達成。

当初の削減計画（2030年度までに「排出量ゼロ」）



### カーボンオフセットとは

直接的な施策によって削減できないCO<sub>2</sub>（カーボン）を、森林吸収源を守る植林やクリーンエネルギー（太陽光、水力、風力、地熱）などの事業に投資することなどにより、排出した分を相殺（オフセット）する仕組みのこと。

《 事業活動排出分のカーボンオフセット実績 》

2020 年度カーボンオフセット実績→189,669kg-CO<sub>2</sub>

2021 年度カーボンオフセット実績→126,209kg-CO<sub>2</sub>

《 社員の家庭から排出分のカーボンオフセット実績 》

2020 年度カーボンオフセット実績→105,624kg-CO<sub>2</sub>

25 世帯 (27 名) 参加/参加率 25%

2021 年度カーボンオフセット実績→128,650kg-CO<sub>2</sub>

35 世帯 (36 名) 参加/参加率 32%

(算出根拠: 各公共料金等の請求書に記載の使用量をエコアクション 21 の「環境への負荷の自己チェック表」に基づいて算出)

《 輸送時排出分のカーボンオフセット実績 》

2020 年度カーボンオフセット実績→10,313kg-CO<sub>2</sub>

2021 年度カーボンオフセット実績→11,179kg-CO<sub>2</sub>

各宅配業者及び輸送先毎に発送数量を集計し算出

(算出根拠: 発送物の数量・重量、輸送距離などを算出し、経済産業省・国土交通省の「物流分野の CO<sub>2</sub> 排出量に関する算定方法ガイドライン」を参考に当社基準を作成し算出)

◆排出量及びオフセットの内訳

2020年度

| 項 目   | 排出量<br>(kg-CO <sub>2</sub> ) | オフセット対象量<br>(kg-CO <sub>2</sub> ) |
|-------|------------------------------|-----------------------------------|
| 事業活動  | 189,669                      | 189,669                           |
| 社員の家庭 | 105,624                      | 105,624                           |
| 輸送時   | 10,313                       | 10,313                            |
| 合計    | 305,606                      | 305,606                           |

2021年度

| 項 目   | 排出量<br>(kg-CO <sub>2</sub> ) | オフセット対象量<br>(kg-CO <sub>2</sub> ) |
|-------|------------------------------|-----------------------------------|
| 事業活動  | 126,209                      | 126,209                           |
| 社員の家庭 | 128,650                      | 128,650                           |
| 輸送時   | 11,179                       | 11,179                            |
| 合計    | 266,038                      | 266,038                           |

|                            |        |
|----------------------------|--------|
| オフセット量(t-CO <sub>2</sub> ) | 306    |
| オフセット比率(%)※                | 100.1% |

※(オフセット量÷排出量合計×100)

|                            |        |
|----------------------------|--------|
| オフセット量(t-CO <sub>2</sub> ) | 267    |
| オフセット比率(%)※                | 100.4% |

※(オフセット量÷排出量合計×100)

2020年度

| オフセット内訳      | 数量(t-CO <sub>2</sub> ) |
|--------------|------------------------|
| 植林           | 138                    |
| 道有林クレジット     | 18                     |
| J-クレジット      | 140                    |
| 岩手県/住田町J-VER | 10                     |
| 合計           | 306                    |

2021年度

| オフセット内訳    | 数量(t-CO <sub>2</sub> ) |
|------------|------------------------|
| オフセット先は調整中 |                        |
| 合計         | 267                    |

## 排出権とは

植林や間伐等の森を守る活動や太陽光発電・風力発電導入等のクリーンエネルギーの活動によって吸収・削減された温室効果ガスを数値化したもの。国による制度に基づき認められると取引することができる、取引する温室効果ガスを「排出権（クレジット）」と呼ぶ。

### [国内クレジット]

国（経済産業省、環境省、農林水産省）が運営する制度）に基づき認証された排出権「クレジット」のこと。本クレジットは、（京都議定書目標達成計画「平成20年3月28日閣議決定」において規定されている）大企業等による環境技術または資金等の提供を通じて、中小企業等が行う温室効果ガスの排出削減が見える化し、認証されることで（自主行動計画や試行排出量取引スキームの目標達成等のために）取引することができる。

参考：<http://jcdm.jp>

### [J-VER]

国（環境省）が運営するオフセット・クレジット「J-VER」制度に基づいて発行される排出権「クレジット」のこと。国内の自主的な温室効果ガス排出削減・吸収活動（プロジェクト）から生み出（創出）される排出削減・吸収量をオフセット・クレジット「J-VER」という。

参考：[https://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon\\_offset/j-ver.html](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset/j-ver.html)

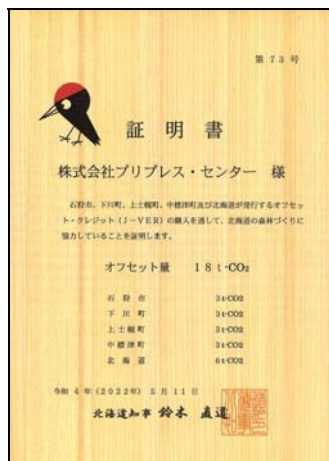
※国内クレジット制度とオフセット・クレジット（J-VER）制度は発展的に統合し、「J-クレジット制度」として、国により運営されています。

参考：<https://japancredit.go.jp>

## 植林活動

「NPO 法人コンベンション札幌ネットワーク」の協力による北海道美幌町の「町有林」等への植林活動。同団体のレガシーカーボンオフセット事業「サミットの森」にて本活動によるカーボンオフセットを実施しています。

<道有林クレジット/18t-CO2>



2020年度分カーボンオフセット証明書  
(北海道)

<J-クレジット/140t-CO2>



2020年度分カーボンオフセット証明書  
(北海道環境財団)

<住田町 J-VER/10t-CO2>



2020年度分カーボンオフセット証明書  
(一般社団法人 more trees)

<植林/138t-CO2>

NPO 法人コンベンション札幌ネットワークの「サミットの森」にてオフセット  
(<http://www.sapporo-convention.net/environment/index.html>)

《 カーボンオフセット商品での実績 》

カーボンオフセット商品とは

商品を購入する事で、お客様ご自身が二酸化炭素の排出量削減に貢献できる商品のこと。

当社のカーボンオフセット商品

●グリーンエコ年賀状（名入れ年賀状・パック年賀状）

年賀状の購入を通じて北海道美幌町に植林を行える商品です。名入れ年賀状は310枚分で、パック年賀状は1パック（3枚入）を36パックで、カラマツ1本の植林を行います。

●カーボンオフセットカレンダー

カレンダーの購入を通じて北海道美幌町に植林を行える商品です。カレンダー100冊に付き、カラマツ1本の植林を行います。

2021年度カーボンオフセット実績→167,305kg

NPO 法人コンベンション札幌ネットワークの「サミットの森」にてオフセット

(<http://www.sapporo-convention.net/environment/index.html>)

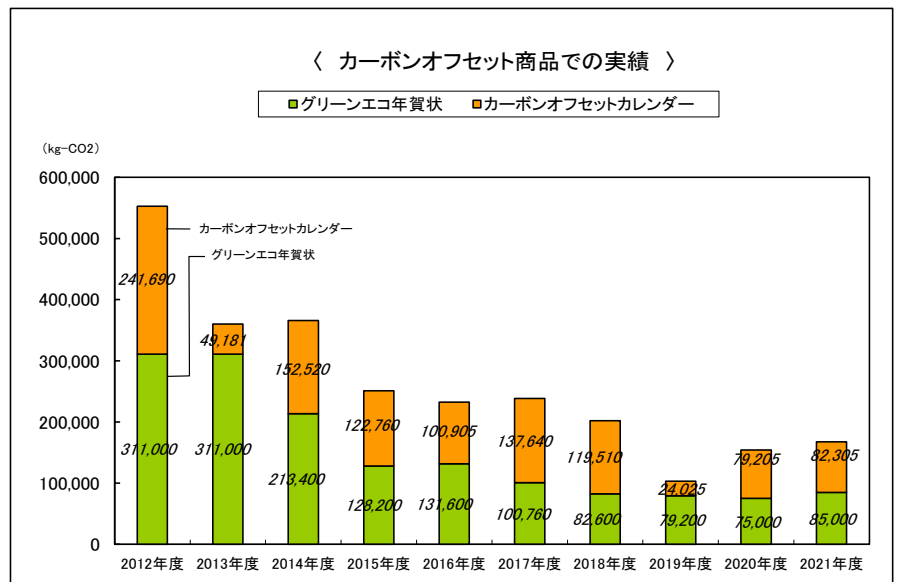
グリーンエコ年賀状

<http://www.cardbox.biz/greeneco/>



カーボンオフセットカレンダー

<https://www.pripress.co.jp/calendar/>





## ■ カーボンオフセットでSDGsを応援

当社は、国連で採択した世界的な社会課題解決に向けた2030年アジェンダである「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）」を支援する取り組みを行います。これまで当社では、事業活動・社員の家庭から排出するCO<sub>2</sub>を相殺（オフセット）する仕組みとして北海道内のJ-クレジット等の活用や北海道美幌町への植林活動を実施。温暖化対策や地域貢献活動から、さらにSDGsへの支援を視野に入れた活動へ展開を拡げる予定です。

当社がカーボンオフセットに活用するクレジットの調達先は北海道・石狩市・下川町・上士幌町・中標津町・帯広市・知内町、植林は美幌町。調達・購入費用を寄附金として扱い、各プロジェクトへの投資・応援を通じて、下記目標につながる支援を実施しています。

### 関連するSDGsの目標

- 目標 7：再生可能エネルギーの導入促進
- 目標 11：持続可能なまちづくり（適切な森林の整備・保全）
- 目標 13：気候変動へのアクション
- 目標 14：海の資源の適切な管理
- 目標 15：森林資源の適切な管理
- 目標 17：行政・関係者とのパートナーシップ



※当社は、2015年に国連グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）に署名・参画しています。

### 取組紹介



◆GCNJ <https://www.ungcjin.org> ◆SDGs <https://www.unic.or.jp> ◆J-クレジット制度 <https://japancredit.go.jp>

## ■ 環境目標と環境活動計画の内容と評価

### 1. 二酸化炭素排出量の削減（2030年度までに排出量をゼロにする）

#### 評価

日常管理や再生可能エネルギー電力への切り替え及びカーボンオフセットを実施して、目標より10年前倒しで排出量ゼロを達成した。

### 2. 廃棄物の削減・ごみの分別 ※数値目標は設定せず、日常管理を実施

「分別ラベル」の通り分別（一般・不燃・産廃・リサイクル）し、所定の保管場所に置く。

### 3. 節水への取り組み

設備更新時に節水型トイレの設置を推進し、節水に取り組んでいる。

#### 評価

上記2と3については、2004年より継続的に実施している。大幅な経営資源の投入を行わない限り、これ以上の成果が見込めず、従来の日常管理を継続実施した。概ねルール通り実行されており、次年度も日常管理を継続する。

### 4. グリーン購入の推進 ※数値目標は設定せず、日常管理を実施

オフィス用品等は、環境配慮型商品を購入している。

#### 評価

従来の日常管理を継続実施した。概ねルール通り実行されており、次年度も日常管理を継続する。

### 5. 化学物質の使用量削減（工場） ※数値目標は設定せず、日常管理を実施

#### 評価

2004年度に印刷溶剤等を一斉に見直し、環境配慮型の製品へ移行した。また、新しい溶剤を購入する際も環境配慮型製品を選択しており、これ以上の削減が見込めないため、維持管理を継続する。

### 6. 地域貢献活動（植林や下草刈りに参加する）

#### 評価

計画通り実施できた。（内容はP11の「その他の環境活動など」参照）

### 7. 札幌本社～環境配慮製品の販売数量

目標：グリーンエコ年賀状（88,000枚）→実績：89,235枚（達成／達成率114%）

#### 評価

大型店舗への採用デザインが増えた結果、達成する事ができた。

### 8. 札幌本社～クライアントへの啓蒙活動

目標：当社の環境活動の紹介、及びFSC他環境仕様の提案（年間120件）

→実績：92件（未達成／達成率76%）

#### 評価

クライアントからの要望（環境仕様での印刷など）には応える事はできたが、積極的な提案が足りず未達成となった。

9. 工場～印刷など製造上ミスの削減

目標：①印刷など工場起因のミス（事故）ゼロを目指す→実績：4件（未達成／達成率0%）

②部署内印刷ミスを10件以内に抑える→実績：3件（達成／達成率100%）

評価

今年度のミス（事故）の多くは上期に発生している。随時手順書や体制の見直しを行い下期は削減できた。今後も継続して工場起因のミス（事故）削減に取り組む。

10. 東京本社～クライアントへの啓蒙活動

目標：①当社の環境活動紹介（年間180件）→実績：181件（達成／達成率100%）

②FSC®、SDGs他、環境仕様の提案（年間60件）→実績：73件（達成／達成率121%）

評価

コロナに大きく左右される年だったが何とか目標は達成できた。SDGsへ取り組む企業が増えていと日々感じられる。今後も継続して活動していく。

11. 大阪支社（営業部）～クライアントへの啓蒙活動

目標：①当社の環境活動紹介（年間100件）→実績：35件（未達成／達成率35%）

②FSC®他環境仕様の提案（年間15件）→実績：21件（達成／達成率140%）

評価

コロナの影響があり、活動が停滞した一年となった。SDGsへの関心の高まりを受け、企業ノベルティを中心に環境配慮商品の依頼は徐々に増えてきている為、来期は活動量を増やし継続する。

12. 大阪支社（製造部）～工場起因のミス削減

目標：①工場起因のミス（事故）ゼロを目指す→実績：0件（達成／達成率100%）

評価

QMS活動により、製品に対する精度、クオリティを意識し、事故撲滅に対しても各セクションで何を考え実行し作業に反映させるかを意識しながら製品製造を行う事ができた。

13. CO2排出に係るバウンダリ（対象範囲）の拡大

①社員の家庭への啓発とともに、CO2排出量を算出しカーボンオフセットする。

②宅配便を利用して納品する際の輸送に関わるCO2の排出量を把握しカーボンオフセットする。

（算出根拠：発送物の数量・重量、輸送距離などを算出し、経済産業省・国土交通省の「物流分野のCO2排出量に関する算定方法ガイドライン」を参考に当社基準を作成し算出する）

評価

① 35世帯（36名）参加→128,650kg-CO2排出／参加率32%

② 各宅配業者及び輸送先毎に発送数量を集計し算出→11,179kg-CO2排出

〈①社員に配布しているフォーマット〉

| 社員         | 2023年 |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
|------------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
|            | 1月    | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 氏名         |       |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| 所属         |       |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| 参加状況       |       |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| CO2排出量(kg) |       |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |
| 備考         |       |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |     |

〈②CO2排出の算出に使用のフォーマット〉

| 届先  | 距離(km)  | 仕 装     |               |            |                |             |             |          | 総数合計  | 重量(kg) | CO2排出量(kg) |          |
|-----|---------|---------|---------------|------------|----------------|-------------|-------------|----------|-------|--------|------------|----------|
|     |         | シズナイ    | スマート<br>フロッパー | スマート<br>工房 | スマート<br>carbon | スマート<br>その他 | 佐川<br>フロッパー | 佐川<br>梱包 |       |        |            | 佐川<br>寄袋 |
| 北海道 | 札幌市が-近郊 | 131.0   | 566           | 2,910      | 218            | 84          | 1,488       | 1,289    | 843   | 1,287  | 9,383      | 37,531   |
| 北東北 | 札幌市が-近郊 | 1,781.0 | 0             | 1,846      | 249            | 20          | 22          | 418      | 234   | 1,932  | 4,627      | 19,228   |
| 関東  | 東京      | 831.0   | 0             | 39         | 0              | 0           | 0           | 1        | 58    | 126    | 235        | 934      |
| 北東北 | 仙台      | 385.0   | 0             | 0          | 0              | 2           | 18          | 1        | 38    | 126    | 188        | 674      |
| 北東北 | 仙台      | 373.0   | 0             | 46         | 0              | 7           | 64          | 103      | 68    | 110    | 388        | 1,558    |
| 北東北 | 仙台      | 534.0   | 0             | 150        | 12             | 29          | 29          | 46       | 156   | 149    | 571        | 2,228    |
| 関東  | 山形      | 542.0   | 0             | 0          | 0              | 0           | 0           | 0        | 43    | 99     | 157        | 633      |
| 関東  | 福島      | 594.0   | 0             | 45         | 0              | 11          | 0           | 0        | 90    | 140    | 259        | 1,177    |
| 関東  | 東京      | 831.0   | 0             | 1,055      | 218            | 610         | 77          | 739      | 2,969 | 21     | 5,668      | 22,767   |
| 関東  | 群馬      | 856.0   | 0             | 53         | 23             | 164         | 23          | 587      | 1,268 | 38     | 2,153      | 8,633    |
| 関東  | 千葉      | 834.0   | 0             | 122        | 8              | 50          | 8           | 33       | 639   | 13     | 872        | 3,448    |
| 関東  | 埼玉      | 813.4   | 0             | 131        | 8              | 89          | 14          | 88       | 873   | 0      | 963        | 3,893    |
| 関東  | 山梨      | 740.0   | 0             | 25         | 0              | 0           | 0           | 0        | 36    | 23     | 147        | 578      |
| 関東  | 栃木      | 732.0   | 0             | 26         | 1              | 2           | 13          | 0        | 101   | 0      | 143        | 553      |
| 関東  | 群馬      | 766.0   | 0             | 18         | 0              | 0           | 0           | 0        | 31    | 0      | 59         | 234      |
| 関東  | 茨城      | 750.4   | 0             | 29         | 0              | 23          | 0           | 0        | 101   | 12     | 218        | 853      |
|     |         |         |               |            |                |             |             |          |       |        |            | 113,890  |

## ■ その他の環境活動など

1. 北海道グリーン購入ネットワーク主催の『カーボンオフセット「サミットの森」づくり in 札幌白旗山 2021 下草刈り』(2021. 07.18)



### 下草刈りとは

植樹した苗木の生育には日光が必要です。苗木の周りには、苗木より背の高い草木が多く生えています。そのため苗木に十分な日光が当らず成長を妨げられ生存すらできなくなることがあるため、背の高い草木を刈る「下草刈り」が必要となります。

2. 北海道グリーン購入ネットワーク主催の『カーボンオフセット「サミットの森」づくり in 札幌白旗山 2021 間伐体験』(2021.10.24)



### 間伐とは

森林の混み具合に応じて樹木の一部や枝を伐採し、木の成長を促す作業です。間伐を行うことでより多くの光が注ぐようになり、木が健全に成長することができます。

3. 北海道が取組んでいる「北海道フロンティアキッズ育成事業」に協力

## 北海道フロンティアキッズ育成事業

**☆北海道フロンティアキッズ育成事業☆**

### 事業の紹介

▶▶▶

このプログラムは、学び（ステップ1）・深め（ステップ2）・共有する（ステップ3）による環境教育の展開により、子どもたちに、自分の町の環境の良さ（問題点）への気づき、SDGsの活用による環境・経済・社会の関わりについての学び、地域貢献への意識と誇りの芽生えを促し、将来的に地域を牽引する持続可能な社会のリーダーの候補となる人材の育成を目的としています。

▶▶▶

本プログラムにおいて作製する「地域未来図」では、普段何気なく通学したり遊んでいる地域の環境の良さ（問題点）を改めて見つめ直し、自分たちの大好きな地域の自然や町並みをどうすれば未来へ残していけるのか、SDGsの視点を活用しながら、実際に図面に落とし込み可視化することで考えを深めていくことができます。

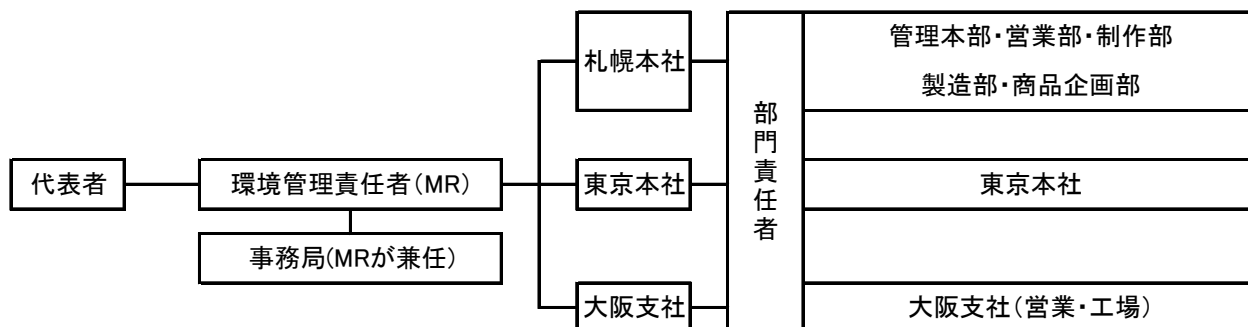
【令和3年度環境学習応援隊（協力企業）一覧】 ※五十音順に掲載

|                |
|----------------|
| 株式会社プリプレス・センター |
|----------------|

北海道の HP より抜粋



■ 実施体制



| 構成要素           | 役割、責任及び権限   |
|----------------|---|
| 代表者            | <p>会社を代表し、会社業務の全ての執行を統括する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. E A 2 1 環境マネジメントシステムの実施及び管理に不可欠な資源の提供、資源には、人的資源及び専門的な技能、技術並びに資金を含む</li> <li>2. 環境経営方針の作成</li> <li>3. 環境管理責任者の任命</li> <li>4. 全体の評価と見直しの実施</li> </ol>                     |
| 環境管理責任者<br>事務局 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. E A 2 1 に従った環境マネジメントシステムの要求事項の確立、実施、維持</li> <li>2. 代表者（社長）への実績報告を含む見直しのための報告</li> <li>3. E A 2 1 環境マネジメントシステムの運用実施</li> <li>4. 文書・記録の作成・管理</li> <li>5. 運用状況のチェック</li> <li>6. 環境活動レポートの作成責任</li> </ol> |
| 部門責任者          | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. E A 2 1 環境マネジメントシステムの運用実施</li> <li>2. 環境管理責任者の指示による文書・記録の作成</li> <li>3. 運用状況のチェック</li> </ol>  |

## ■ 次年度の主要な環境目標と環境活動計画の内容

※廃棄物の削減・節水・節電・化学物質の使用量削減に関しては、2004年より継続的に取り組んでおり、大幅な経営資源の投入を行わない限り、これ以上の成果が見込めず、これからも現状の日常管理を継続していく。ただし、設備更新の際は、環境配慮を考慮した設備の導入を検討する。

1. 札幌本社～「環境配慮製品の販売促進」・「クライアントへの啓発活動」  
目標：①グリーンエコ年賀状の販売数量 100,000 枚  
②当社の環境活動紹介及び FSC®他、環境仕様の提案(年間 120 件)  
③当社の SDGs コンサルティングの提案 (年間 20 件)  
中期目標:販売数量、提案件数のアップが基本とするが、市場動向等を考慮し見直す
2. 札幌工場～「印刷など工場起因のミス、ゼロを目指す」・「部署内印刷ミスの削減」  
目標：①工場全体で年間 0 件  
②部署内での印刷ミス削減 (年間 10 件以内)  
中期目標:ミスの削減を継続
3. 東京本社～「クライアントへの啓発活動」  
目標：①当社の環境活動紹介(年間 180 件)  
②FSC®、SDGs 他、環境仕様の提案 (年間 60 件)  
中期目標:紹介、提案件数のアップが基本とするが、市場動向等を考慮し見直す
4. 大阪支社 (営業二部) ～「クライアントへの啓発活動」  
目標：①当社の環境活動紹介(年間 50 件)  
②環境配慮ノベルティ・FSC®等、環境仕様の提案 (年間 50 件)  
中期目標:紹介、提案件数のアップが基本とするが、市場動向等を考慮し見直す
5. 大阪支社 (共立美線印刷事業部) ～「工場のミス、ゼロを目指す」  
目標：工場全体で年間 0 件  
中期目標:工場のミス、ゼロを継続
6. その他の環境活動計画
  - (1) 社員の家庭への啓発とともに、CO<sub>2</sub> 排出量を算出しカーボンオフセットする。
  - (2) 宅配便を利用した際の輸送に関わる CO<sub>2</sub> 排出量を把握しカーボンオフセットする。
  - (3) 事業活動で排出された CO<sub>2</sub> をカーボンオフセットする。
  - (4) 地域貢献活動：植林や下草刈りに参加する。
  - (5) CO<sub>2</sub> の排出量ゼロを継続する。

## ■ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

罰則・行政指導に関わる義務違反規定について、違反及び関係機関から指摘はなかった。また、訴訟等も一件もなかった。(主な環境法令：廃棄物処理法、騒音・振動規制法、PRTR 法、消防法)

## ■ 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・ 植林や植林後の管理 (下草刈) など、今後も地域貢献活動を継続していく。
- ・ CO<sub>2</sub> 排出に関わるバウンダリの拡大 (社員の家庭や輸送時の CO<sub>2</sub> 排出量) の取り組みは、今後も継続していく。
- ・ 社屋の設備更新時には環境配慮型の設備導入を今後も検討する。
- ・ 有機溶剤等の取扱に関しては、これまで同様、十分注意していく。
- ・ 工場でのミスを削減すべく、QMS 活動と並行して推進していく。
- ・ SDGs についての提案を推進していく。

## ■ 当社工場で使用の印刷溶剤について

過去に印刷用溶剤に含まれる化学物質が健康被害を及ぼすとの報道がありましたが、当社では 2004 年から本格的に環境活動に取り組み、当社印刷工場で使用の溶剤については、PRTR 法など、環境関係の法規制に準じた管理を一貫して行っており、従業員の健康を害するような事は一切ありません。

## 過去の環境活動等の紹介

### 1. 北海道洞爺湖サミットの公式ポスターの印刷を受注（2008年）



2008北海道洞爺湖サミット  
公式ポスター 印刷(2008年)

日頃の環境配慮活動が関連機関から認められ、公式ポスター・公式ガイドブックの印刷を受注することができた。  
用紙やインク、印刷方法についてはグリーン購入のガイドライン等を参考とした。

### 2. 「2009 日本パッケージングコンテスト」において、弊社が製造した坂本龍一さんの北海道限定シングル「nord」のCDジャケットが日用品・雑貨包装部門賞を受賞（2009年）



〈 特徴 〉

- ・紙のみで出来ている。
- ・のこぎり屑を50%以上配合した環境対応紙を使用している。
- ・外側ケースは、折り畳み形状で設計されており、糊を一切使用していない。

### 3. 東京都足立区の「あだち区民まつり（A-Festa2010）」において、当社の環境すごろく「環境戦隊サスティナー」が無料配布され環境啓発に協力（2010年）



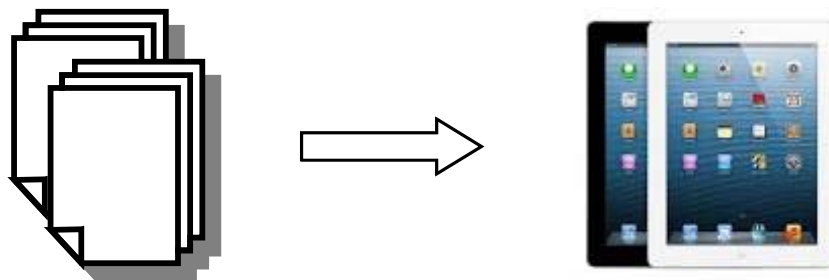


4. 大丸藤井(株)より「震災復興型カーボンオフセット用紙」を購入し、16,355kg-CO2 をオフセット (2012年)



5. ipad 導入で会議資料をペーパーレス化 (2012年)

定例会議時に使用していた会議資料を「紙」から「ipad」へ移行したことにより、A4用紙換算で年間約7,200枚のコピー用紙を削減



6. 「北海道 森と大地のカーボン・クレジット」の活用第一号となる。(2013年)



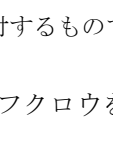
「CO-Net ニュース」より (<http://www.carbonoffset-network.jp/index.html>)

7. 「平成 25 年度カーボンフットプリントを活用したカーボンオフセット製品等試行事業」の第一号の  
 認証を取得 (2013 年)



環境教育団体 elsa が企画協力・実践しているプログラムで使用する環境学習ノートの作成の際に、平成 25 年度の試行事業で初めての認証を取得しました。この試行事業は、製品のライフサイクルにおける温室効果ガス排出量を算定した事業者が、別途取得した同量の クレジットにより埋め合わせ (カーボンオフセット) を行ったことを認証し、製品に認証ラベルを添付するものです。

8. 当社製造の「ポストカードシマフクロウを守ろう」が、CFP 検証合格・どんぐり認証マークを取得 (2014 年)

| カーボンフットプリント登録情報                            |             |  |  |
|--|-------------|--|--|
| 1.1  | 登録番号        | CR-BS03-15005  | 1/7 認証番号   |
| 1.2  | 製品名称 (日本語)  | ポストカード「シマフクロウを守ろう」(POD版)   |  |
| 1.3  | 製品名称 (英語)   | Post Card for protection Blakiston's fish owl (Printed in JAPAN)                     |  |
| 1.4  | 製品の仕様・仕様    | サイズ: 100mm×150mm<br>版式: 縦書き縦向きで1シート<br>印刷仕様: SHVサイズ(9.5%縮小)の<br>(質量26g/㎡)            |  |
| 1.5  | CFP標準単位     | 1000セット  | ※製品に付き、<br>各製品イメージが、<br>現場とは異なります。   |
| 1.6  | 登録日         | 2015年2月4日  |  |
| 2. 事業者情報                                   |             |  |  |
| 2.1  | 事業者名 (日本語)  | グリーン(PO)製造会<br>(非営利 株式会社リコー)   |  |
| 2.2  | 事業者名 (英語)   | GREEN(PO) MANUFACTURING CO., LTD.  |  |
| 2.3  | 登録番号        | 090-3814-5166  |  |
| 3. CFP算出結果 (単位: CO <sub>2</sub> e/1000セット) |             |  |  |
| 3.1  | カーボンフットプリント | 10   | ※ CO <sub>2</sub> e<br>(※算出結果はCFPプログラムの標準値に基づき算出されています)                            |
| 3.2  | 原材料製造段階     | 9.0  | ※ CO <sub>2</sub> e  |
|  | 生産段階        | 1.1  | ※ CO <sub>2</sub> e  |
|  | 運送段階        | 0.071  | ※ CO <sub>2</sub> e  |
|  | 使用・維持管理段階   | 0.00   | ※ CO <sub>2</sub> e  |
|  | 廃棄・リサイクル段階  | 0.17   | ※ CO <sub>2</sub> e  |
| ※ 製品表示                                     |             | 26g  | 1シートあたり<br>(ライフサイクル全体のCO <sub>2</sub> e排出量)  |
| 3.3  | 環境負荷の削減割合   |  | ■ 原材料調達段階<br>■ 生産段階<br>■ 運送段階<br>■ 使用・維持管理段階<br>■ 廃棄・リサイクル段階                       |
| 3.4  | 備考          | [印刷会社] 株式会社アリアス・センター   |  |





4.1 CFP算出結果の補足

オンデマンド印刷による小ロット生産時の算出用印刷物についてCFP算定を行いました。原料調達段階における温室効果ガス排出量が全体の0.7%と最も多くなり、この中でも印刷用紙の温室効果ガス排出量が最も多くなりました。尚、印刷に使用されるトナー4色の原料由来の製造加工負荷についてはリコーより提供された情報を活用して算定しています。

5. 詳細情報

5.1 印刷機名: HP D1155 印刷機 5.2 印刷機メーカー: HP 5.3 印刷機タイプ: 1001 (モノクロ)

5.4 印刷機タイプ: 1001 (モノクロ)

5.5 印刷機タイプ: 1001 (モノクロ)

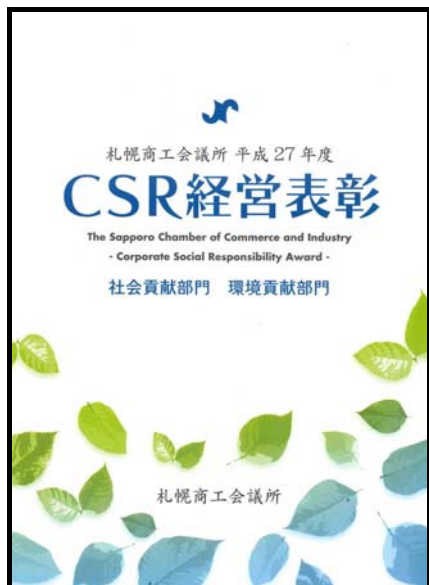
5.6 印刷機タイプ: 1001 (モノクロ)

5.7 印刷機タイプ: 1001 (モノクロ)

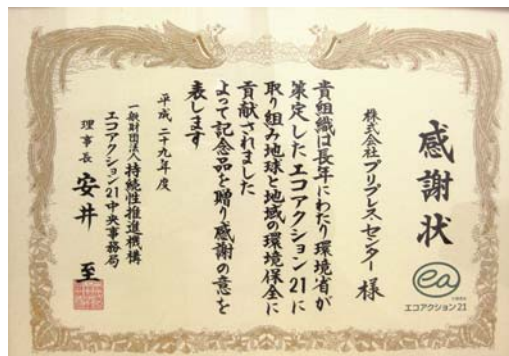
(カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム (CFP プログラム) HP より  
[https://www.cfp-japan.jp/common/pdf\\_permission/001048/CR-BS03-15005.pdf](https://www.cfp-japan.jp/common/pdf_permission/001048/CR-BS03-15005.pdf))

※株式会社リコーが開発した「POD 印刷物の CFP 算出及び認証申請書作成支援ツール」を利用する事で、作業負担の大幅軽減を図っています。

9. 平成 27 年度札幌商工会議所「CSR 経営表彰」において、社会貢献部門と環境貢献部門をダブル受賞（2016 年）



10. エコアクション21 認証・登録10年継続の事業者として表彰される（2018年）



11. 札幌市生物多様性レポートに当社の取組が紹介される（2018年）



1 2. 美幌町での植林活動が認められ「令和元年度善行賞」を受賞（2019.11.03）





## 企業及び代表者の環境活動

### 1988 年度

創業と同時に北海道リサイクル運動市民の会の発足から第一回目のフリーマーケット開催に携わる。(1988年から1991年まで事務局長。フリーマーケットのアメリカ現地視察、当時の北海道知事、横道孝弘氏との意見交換、札幌市のアースデー、環境月間行事、リサイクル月間行事などに多数かかわる)

### 1998 年度

小部数など必要な量を印刷することができるオンデマンド印刷機「インディゴ社 E-Print1000」を導入。

### 1999 年度

札幌市中央区に工場を新設。環境に配慮したオンデマンド水なしオフセット印刷機「ハイデルベルグ社 Quick Master DI」を導入。

### 2003 年度

社内製造 IT 業務ワークフローの省力化や DB 化を目的にブラウザ上で稼動する「JOB 管」を開発。

### 2004 年度

ISO14001 認証取得。

### 2005 年度

グリーン購入ネットワーク理事、札幌市環境活動推進会議委員に就任。

挨拶状・年賀状の e コマースサイト「Cardbox」が経済産業局 IT 経営百選奨励賞を受賞。新しいビジネスモデルと省力化されたワークフローなどが高く評価される。

### 2006 年度

印刷と WEB の新しいビジネスモデルの提案を目的に携帯 ASP サービス「モバイル店長」、ビジネスブログ「かんだネット」の販売開始。「JOB 管」やグループウェアの導入、環境配慮活動などが評価され、IT 経営百選優秀賞を受賞。

### 2007 年度

環境マネジメントシステムを ISO14001 からエコアクション 21 に変更。(認証・登録番号 0001952)

### 2008 年度

グリーン購入ネットワークの地域組織である、「北海道グリーン購入ネットワーク」の設立に向け活動を行う。

FSC® (Forest Stewardship Council、森林管理協議会) の COC 認証を取得。(認証コード CU-COC-811067)

### 2009 年度

イギリスで設立されたカーボンマネジメント・カーボンオフセット企業 co2baiance と排出権取引契約。

「2009 日本パッケージングコンテスト」において、弊社が製造した坂本龍一さんの北海道限定シングル「nord」の CD ジャケットが日用品・雑貨包装部門賞を受賞。

### 2010 年度

中小企業家同友会全国協議会主催の「2009 年度同友エコ」において、外部審査員賞を受賞。

### 2011 年度

中小企業家同友会全国協議会主催の「2010 年度同友エコ」において、会長賞を受賞。

北海道美幌町より「平成 23 年度善行賞」を受賞。

### 2012 年度

グリーン購入ネットワーク 主催の「第 14 回グリーン購入大賞」において、審査員奨励賞を受賞。

北海道美幌町より「平成 24 年度善行賞」を受賞。

### 2013 年度

「平成 25 年度カーボンフットプリントを活用したカーボンオフセット製品等試行事業」の第一号の認証を取得。

「北海道 森と大地のカーボン・クレジット」の活用第一号となる。

北海道美幌町より「平成 25 年度善行賞」を受賞。

### 2014 年度

北海道美幌町より「平成 26 年度自治功労賞」を受賞。

### 2015 年度

平成 27 年度札幌商工会議所「CSR 経営表彰」において、社会貢献部門と環境貢献部門をダブル受賞。

### 2016 年度

日本印刷産業連合会主催の「第 15 回印刷産業環境優良工場表彰」にて奨励賞を受賞。

北海道美幌町より「平成 28 年度善行賞賞」を受賞。

### 2017 年度

北海道美幌町より「平成 29 年度善行賞賞」を受賞。

エコアクション 21 認証・登録 10 年継続の事業者として表彰される。

### 2018 年度

北海道美幌町より「平成 30 年度善行賞賞」を受賞。

### 2019 年度

北海道美幌町より「令和元年度善行賞賞」を受賞



環境活動レポート 2021 年度版

活動期間（2021 年 6 月～2022 年 5 月）

2022 年 9 月 9 日発行

株式会社 プリプレス・センター

北海道札幌市中央区南 10 条西 8 丁目 4-1

TEL : 011-206-7654 FAX : 011-520-7887

URL : <https://www.pripress.co.jp>